

世界にセンセーションを巻き起こした

朱氏頭皮針とはどんな針か

脳卒中後遺症や脊椎損傷で、難治性の麻痺をわずらった患者に希望の火を灯す針。

今から 30 数年前、中国の北京で開催された世界針灸連合会の学術大会で、朱明清氏は頭皮針を使って、歩行困難な急性期脳卒中患者を車椅子から立ち上がらせ、歩かせてみせました。

この驚きは世界をかけめぐり、一大センセーションを巻き起こしました。

それから 30 数年、今秋、古都・京都に朱明清氏が再びやって来ます。

■朱氏頭皮針とは

◇^{しゅしとうひしん}朱氏頭皮針 (zhu's scalp acupuncture) とは、^{しゅめいせい}朱明清氏が開発したもので、頭部の皮下に沿って針を入れて、さまざまな病気を治療する針治療のことです。

◇対象となるのは、痛み全般、慢性疾患、麻痺だけでなく、急性の症状や難治性の病気に広く適応します。特に脳梗塞後遺症や脊椎損傷をはじめとした難治性の麻痺に対して、即効性のある改善効果をあげることから注目されています。

◇頭部に針を刺して治療する頭皮針は、いまから 50 年ほど前に確立しました。現在、頭皮針には複数の方法がありますが、おもに 2 つのタイプがあります。①西洋医学的な大脳皮質機能の投影区を治療の根拠とするものと、②中医学の理論を根拠とするものです。

◇朱氏頭皮針は中医学の理論を中心として、西洋医学の解剖学的知識でそれを補完している治療法です。特に中国の伝統医学的理論と針刺手法を重視し、治療の全過程において、^{どういん}導引*によるリハビリを組み合わせている点が特徴です。

◇頭皮針はただ単に頭部に針を刺せばよいわけではありません。朱氏頭皮針では、頭部に、全身の疾患に対応した 19 の治療区が定められており、疾患に応じて治療区を選んで使います。また針の刺し方も伝統的な手法を駆使します。



***導引**：朱氏頭皮針で行う導引は、主導導引と受動導引の 2 種類に分けられます。主導導引は随意運動ができる患者が自ら行うもので、各種の功法（気功など）や運動療法があります。受動導引は随意運動が減弱あるいは喪失した患者に適用され、施術者や家族の助けによって行われるもので、按摩や各種の自律訓練などがあります。

【朱明清針灸神経医学センターのホームページ】 <http://www.scalpacupuncture.org/>

■朱明清氏とは

朱明清氏（男性）は、中国・上海出身、1940 年生まれで今年 73 歳です。現在は、アメリカ・カリフォルニア州に在住しており、現地で Zhu's Neuro-Acupuncture Center（朱明清針灸神経医学センター）を開設しています。

センターでは、脳卒中後遺症、脊髄損傷、慢性疼痛、パーキンソンなど、多くの重症患者が頭皮針治療を受けに訪れ、良好な効果をあげています。

【参考】youtube にアップされている治療の様子を撮影した動画

<http://www.youtube.com/watch?v=fuQ7hiYaj9s>

<http://www.youtube.com/watch?v=S5vlUFCDGmQ>

【プロフィール】

1964 年、上海中医学院（現・上海中医薬大学）針灸学部卒業。

1963～64 年、上海中医学院附属曙光医院と龍華医院針灸科勤務。

1964～75 年、貴州省の貴陽中医学院附属医院針灸科勤務。

1975～87 年、浙江省麗水地区医院、嘉興衛生専門学校および浙江中医学院に勤務。

1987 年 3 月、北京針灸学院の針灸学部刺灸教研室主任。

1990 年、アメリカのカリフォルニア州に定住、朱明清針灸神経医学センター主任。

2003 年、NPO『朱氏頭皮針教育および研究基金会』を創立し、頭皮針専門医師の教育と訓練を行う。

所在地：**Zhu's Neuro-Acupuncture Center**

1754 Technology Dr Ste 225 San Jose, CA 95110